令和6年度（2024年度）阿蘇教育事務所取組の方向及び重点実践事項

人権尊重の精神を根底に据え、校長のリーダーシップのもと学校組織マネジメントを推進するとともに、魅力ある学校づくりを目指し、熊本の未来の創り手となる児童生徒一人一人に必要な資質・能力を育む指導体制の確立を図る。
～教師の「情熱」、子供との「信頼」、明確な「方策」を基軸とした「阿蘇の教育」の創造～

阿蘇教育事務所

※重点実践事項の評価は5段階で評価

取組の方向		重点実践事項 （黄色セルは特に重点的に取り組む）		中間評価 4～9月	最終評価 4～12月	好事例
1 信頼される学校づくり	不祥事根絶	1-1	県作成テキスト等を活用した心に響く不祥事防止研修の計画的な実施			
	教師の育成	1-2	研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励等を通じた教師の主体的な資質向上・能力開発			
	働き方改革	1-3	「熊本県の公立学校における働き方改革推進プラン」を踏まえた働き方改革の推進			
	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進	1-4	五者連携による地域の特色を生かした教育活動の推進			
		1-5	学校運営協議会への児童生徒の意見やアイディアの反映			
	生涯にわたって学び合える生涯学習振興の基盤づくり	1-6	「親の学び」講座の実施等による家庭教育支援の推進			
		1-7	社会教育施設や県の事業の活用等による豊かな体験活動の推進			
2 「確かな学力」の育成	阿蘇の「授業力」向上のための3つの重点事項	2-1	指導と評価の一体化を実現するために4つ【「目標⇔評価」⇔「めあて（学習課題）⇔まとめ」】を整合させ、一本の軸で貫く授業構想の徹底			
		2-2	児童生徒を「学びの主体」とするための指導の充実			
		2-3	1単位の授業または学習のまとまりごとの定着確認の徹底			
		2-4	個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICTの効果的な活用			
		2-5	家庭学習における主体的な学びの充実			
		2-6	学力向上検証改善サイクルの確立（学力調査直後における課題である問題の確認とその克服）			
		2-7	子供と教師の信頼関係を基盤とし、全ての子供が安心して過ごせる学級づくり（i-checkの有効活用）			
	英語・日本語教育	2-8	年間指導計画等・CAN－DOリスト・Small Talkの小中での共有及び活用			
		2-9	単元構成の工夫・改善（①目的・場面・状況を意識した言語活動 ②中間指導 ③学びを自覚させる振り返りの実施）			
		2-10	基礎的基本的事項の定着を図るための具体的な取組の充実			
		2-11	担当教員の英語力及び授業力の向上（研究授業を含む校内研修の実施）			
		2-12	CEFR A1レベル（英語検定3級相当）の英語力を身に付けるための取組の充実（中学校）			
		2-13	市町村教育委員会や民間団体と連携した日本語指導が必要な児童生徒への支援体制の充実・強化(在籍校)			
	読書活動の推進	2-14	読書目標の設定に基づく読書指導の充実			
		2-15	読み聞かせや家庭読書等、五者連携による読書活動の推進			
	幼・保等、小、中連携	2-16	「幼児期の終わりから小学校入学への『円滑な接続』に向けたくまもとスタンダード」を活用した取組の充実(小学校)			
		2-17	幼・保等、小、中連携を深める機会の設定			
	キャリア教育	2-18	キャリア教育で目指す資質・能力や態度の明確化及び共有のための研修の実施			
		2-19	児童生徒のキャリア形成のための、「縦軸」「横軸」を踏まえたキャリア・パスポートの具体的活用			
3 「豊かな心」の育成	不登校及びいじめの未然防止・解消	3-1	すべての児童生徒が自己有用感や自己肯定感を感じられる居場所づくりの推進			
		3-2	「愛の1・2・3運動＋1」の実施及び欠席10日目までには関係機関や専門家と連携した早期対応			
		3-3	児童生徒相互の人間関係、児童生徒と教職員との信頼関係及び教職員同士のつながりの構築			
		3-4	SOSの出し方に関する教育の実施と相談体制等の充実			
	道徳教育	3-5	多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める指導や評価の工夫・改善			
		3-6	道徳科授業力向上手引書及びリーフレット等を活用した授業実践（校内研修の実施）			
		3-7	地域や保護者への公開授業等による発信（「熊本の心」「つなぐ」等の活用を含む）			
	環境教育	3-8	児童生徒が主体となって取り組む学校版環境ISOの取組の充実			
		3-9	五者連携のもと、学校での学びを家庭生活や社会貢献につなげようとする態度の育成			
		3-10	「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を通じて、環境問題等を自分事として考えるための指導方法等の工夫・改善（小学校）			
4 健康教育の推進	体力向上	4-1	新体力テストの分析による課題を踏まえた組織的な体力向上の取組推進			
		4-2	体力向上の視点を踏まえた体育・保健体育授業の改善			
	保健教育・食育の推進	4-3	基本的な生活習慣確立に向け、家庭・地域・関係機関と連携した保健指導の充実			
		4-4	教科や給食の時間における食に関する指導及び家庭・地域への食育に関する啓発			
		4-5	歯と口の健康に関する指導及びう歯治療の家庭への啓発			
	学校安全	4-6	防災主任を中心とした自然災害発生時の組織的で迅速な対応に向けた危機管理マニュアルの見直し			
		4-7	災害対応能力や危機管理意識の向上を図る実践的な避難訓練の実施			
		4-8	家庭・地域・関係機関と連携した安全教育及び安全管理の充実			
5 人権教育の推進	校内研修の充実	5-1	部落差別をはじめとするあらゆる差別事象への適切な対応に向けた実践的な研修の実施			
	指導方法の工夫	5-2	「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」「人権教育の指導方法等の工夫・改善パンフレット」等の資料を活用し、子供の実態の基づいた、実践行動につながる指導方法の工夫・改善			
	家庭、地域への啓発	5-3	家庭、地域に向けた人権意識啓発の推進			
6 特別支援教育の充実	研修の実施	6-1	専門家等を活用した特別支援教育に関する研修の実施			
	学びの場の検討及び適切な教育課程の編成	6-2	教育委員会及び専門機関と連携した適切な就学指導及び定期的な学びの場の検討			
		6-3	教育的ニーズに基づく適切な教育課程の編成と指導			
	個別の教育支援計画等の充実	6-4	本人・保護者との合意形成のうえ、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成・実践及び確実な引継ぎ			
		6-5	実態把握に基づく「自立活動の個別の指導計画」の作成・実践・評価・改善及び修正			

令和6年度（2024年度）阿蘇教育事務所取組の方向における「阿蘇の指標」

※指標の割合は百分率（%）で小数第1位まで記入

取組の方向		阿蘇の指標 （黄色セルは特に重点的に取り組む）	R5.12月県学		R6.4月全学		R6.12月県学		R6年度 阿蘇の目標値
			小5	中2	小6	中3	小5	中2	
2「確かな学力」の育成 **「誰一人取り残さない学びの保障」と「子供を学びの主体とした『分かる授業づくり』」**	①	【県参考指標1】「授業では、課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいると思いますか」の肯定的な割合							R6.12月県学調でR5より増加
	②	【県参考指標2】「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の肯定的な割合							R6.12月県学調でR5より増加
	③	【県参考指標3】「授業の内容はよく分かりますか」の肯定的な割合（国語）							R6.12月県学調でR5より増加
	④	【県参考指標3】「授業の内容はよく分かりますか」の肯定的な割合（算数・数学）							R6.12月県学調でR5より増加
	⑤	【県参考指標3】「授業の内容はよく分かりますか」の肯定的な割合（英語）							R6.12月県学調でR5より増加
	⑥	「国語の勉強は好きですか」についての肯定的な割合							
	⑦	「算数又は数学の勉強は好きですか」についての肯定的な割合							
	⑧	「英語の勉強は好きですか」についての肯定的な割合							
	⑨	県学力調査・全国学力調査の結果において、正答率3割未満の児童生徒の割合（国語）							R6.12月県学調でR5より減少
	⑩	県学力調査・全国学力調査の結果において、正答率3割未満の児童生徒の割合（算数・数学）							R6.12月県学調でR5より減少
	⑪	県学力調査・全国学力調査の結果において、正答率3割未満の児童生徒の割合（英語）							R6.12月県学調でR5より減少
	⑫	【義務課指標】「英語で自己紹介ができる」（「話すこと（発表）」）と回答した児童生徒の割合 ※R6年度新規							
	⑬	【義務課指標】「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思いますか」について「当てはまる」と回答した児童生徒の割合							
	⑭	【義務課指標】「自校の学校教育目標を踏まえた児童生徒に育てたい資質・能力を意識して、授業等日々の教育活動に取り組んでいる」について、「よくしている」と回答した教師の割合							
	⑮	【義務課指標】「授業に当たって、単元終了時の児童生徒の姿を具体的にイメージして指導を行っている」について、「よくしている」と回答した教師の割合							

取組の方向		阿蘇の指標 （黄色セルは特に重点的に取り組む）	現状値 （R5年度）	中間評価 4～9月	最終評価 4～12月	R6年度 阿蘇の目標値
3「豊かな心」の育成 **「不登校・いじめの早期対応」と「相談体制の充実」**	⑯	不登校出現率（小数第2位まで記入）				←小数第2位まで記入
	⑰	不登校及び不登校傾向の児童生徒が専門機関とつながっている（間接支援も含む）割合（該当校）				間接支援も含めて100%
	⑱	「いじめられたことがある」と答えた児童生徒の中で「誰かに話をした」と回答した割合（心のアンケートから）				「心のアンケート」で80%以上
4健康教育の充実	⑲	体育・保健体育の授業について、「楽しい」「どちらかというと楽しい」「どちらかというと楽しくない」「楽しくない」の4段階で調査し、「楽しい・どちらかというと楽しい」と回答した児童生徒の割合 （最上学年より1学級抽出・4段階評価により各学校で調査）				
	⑳	「体育・保健体育の授業について、「児童生徒同士の学び合いがよくある」「児童生徒同士での学び合いがある」「児童生徒同士での学び合いがあまりない」「児童生徒同士での学び合いがない」の4段階で調査し、「よくある・ある」回答した児童生徒の割合（最上学年より1学級抽出・4段階評価により各学校で調査）				
	㉑	う歯治療完了者（現在治療中の者も含む）の割合				
5人権教育・啓発の推進	㉒	「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」の理解促進のための校内研修の実施	済・未	済・未	済・未	
6特別支援教育の充実 **「インクルーシブ教育システムの構築」**	㉓	特別支援学級在籍及び通級指導を受けている児童生徒の「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成割合（該当校）				対象児童生徒の作成率100%